

## 平成 26 年度 普及に移す農業技術（第 1 回）

[分類]	普及技術
[成果名]	移植水稻用中期除草剤ツインスター 1 キロ粒剤は水田雑草防除に有効である
[要約]	移植水稻にツインスター 1 キロ粒剤を、初期剤との体系で、移植後 6 日からノビエ 3 葉期に 1 kg/10a 処理することで、ノビエ等の一年生雑草から難防除雑草まで効果的な水田雑草防除が可能である。
[担当]	農業試験場作物部・農業技術課
[部会]	作物部会

### 1 背景・ねらい

除草効果の高い移植水稻用中期除草剤の実用性を検討し、新しく利用できる剤として普及技術とする。

### 2 成果の内容・特徴

移植水稻に対して初期剤との体系で、中期除草剤ツインスター 1 キロ粒剤を移植後 6 日からノビエ 3 葉期までに 1 kg/10a 処理することで、ノビエ等の一年生雑草から難防除雑草まで効果的な水田雑草防除が可能である。

#### 農薬登録内容

ツインスター 1 キロ粒剤

[一般名および成分含有量] ダイムロン：10.0%、メタゾスルフロン 1.0%

[毒性] 人畜毒性：毒物、劇物には該当しない

[魚毒性] ダイムロン：A 類、メタゾスルフロン：－

[対象作物に対する適用登録状況]（平成 26 年 10 月 2 日現在 JPP-NET 確認）

作物名	適用雑草名	使用方法	適応土壌	使用時期	10a 当たり 使用量	本剤の使用 回数
移植水稻	水田一年生雑草及びウリカワ、セリ、ヒルムシロ、ホタルイ、マツバイ、ミズガヤツリ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ	湛水 散布	砂壤土～ 埴土	移植後 5 日～ ノビエ 3 葉期 ただし、収穫 60 日前まで	1 kg	1 回

### 3 利用上の留意点

(1) 原則として、田植前後処理の初期剤との体系で使用する。

(2) 使用上の留意事項は、「農作物病害虫・雑草防除基準（長野県）」の除草剤の使用方法（中期除草剤）を参照する。

### 4 対象範囲

県下の水稻作付地帯約 32,000ha

## 5 具体的データ

(1) 平成24年に農業試験場において初期剤との体系で実施した試験では、移植後15日、同30日(ノビエ3葉期)処理で、ノビエ等一年生雑草から難防除雑草まで高い除草効果が認められた(表1)。薬害は認められなかった(データ略)。

表1 ツインスター1キロ粒剤の雑草防除効果<sup>a)</sup> (平成24年、農業試験場)

除草剤名	処理時期 <sup>b)</sup> 処理量 (/10a)	ノビエ	タマガヤツ リ	一年生 広葉 <sup>c)</sup>	ホタルイ	オモダカ <sup>d)</sup>	クログワ イ <sup>d)</sup>	合計
エリジャン乳剤→ ツインスター1キロ粒 剤	+0日→+15日 (5/14→5/29) 300ml→1kg	0	0	t	0	14	0	t
	+0日→+30日 (5/14→6/13、 ノビエ3葉期) 300ml→1kg	0	0	0	0	6	0	t
(比較) エリジャン乳剤→ →ザーベックスDX1 キロ粒剤	+0日→+20日 (5/14→6/3) 300ml→1kg	t	0	0	0	21	0	1
無処理	—	11.6	30.5	122.1	141.5	4.3	1.6	311.6

a) 除草剤各処理区の数値は対無処理区比(%)。無処理区は乾物重(g/m<sup>2</sup>)。発生はあるものの、四捨五入で0になる場合は「t」として示した。

b) 処理時期の+は移植後日数。

c) コナギ、アゼナ、ミジハコベ、キカシグサの合計。

d) 塊茎埋め込み試験。

試験方法：試験場所は農業試験場水田ほ場(標高340m、細粒グライ土、軽埴土)。品種は「あきたこまち」。中苗3本植(22.2株/m<sup>2</sup>)。代かきは5月11日、移植は5月14日。1区7.2m<sup>2</sup>、2区制。

調査方法：移植52日後(7/5)に50×50cmの枠サンプリングにて調査した。

(2) 平成26年に立科町の現地ほ場で初期剤との体系で実施した試験では、移植後6日処理で高い除草効果が認められた(表2)。薬害は認められなかった(データ略)。

表2 ツインスター1キロ粒剤の雑草防除効果<sup>a)</sup> (平成26年、農業技術課)

除草剤名	処理時期 <sup>b)</sup> 処理量(/10a)	ノビエ	一年生広葉	ホタルイ	合計
マーシェット乳剤→ ツインスター1キロ粒剤	-7日→+6日 (5/16→5/29) 500ml→1kg	0	0	0	0
(比較) マーシェット乳剤→ ビクトリーZ1キロ粒剤 <sup>c)</sup>	-7日→+6日 (5/16→5/29) 500ml→1kg	0	0	0	0
マーシェット乳剤→ 中期剤無処理	-7日(5/16) 500ml	t	t	1.1	1.2

a)、b)は表1と同じ。

c) 比較は、試験区の隣接ほ場で実施。

試験方法：佐久農業改良普及センターが実施。試験場所は立科町下竹ノ花(標高800m、灰色低地土、埴壤土)。中苗、機械移植。入水は5月10日、代かきは5月15日、移植は5月23日。1区17a、反復なし。

調査方法：移植35日後(6/27)に50×50cmの枠サンプリングにて、処理区は複数カ所、無処理区は1カ所の調査を行った。

## 6 特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

普通作物の新規農薬等の効果試験、平成24年度(2012年度)、平成26年度(2014年度)、協力研究